

PDCA サイクルの構築に向けて

◆目的

北九州市基本構想・基本計画の推進

◆課題

しかし…

- 予算の量的増額は困難
〔現下の財政状況から判断すると、厳しい財政制約の中で推進しなければならない。〕

◆行政の指針

そこで…

- 次のことの達成が必要

■ 事業内容の効率化

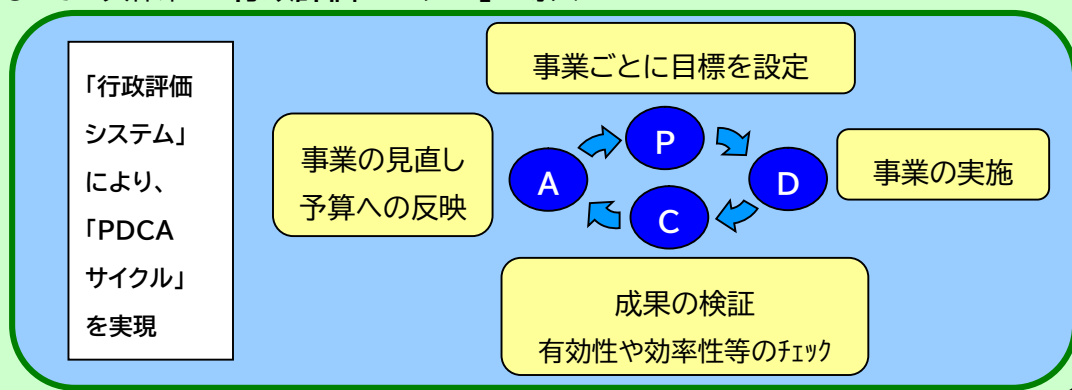
■ 事業の選択と集中
(スクラップ&ビルド)

■ 事業の『質』の向上

◆解決方法

そのためには…

- 次のことを行わなければならない。
 - ▼ 「基本構想・基本計画推進の観点から、事業が期待どおりの成果をあげているか」の検証
 - ▼ 成果を挙げていない場合は、事業内容を見直すか、廃止して別の有効な事業に予算を集中させること
- その具体策が「行政評価システム」の導入



◆効果

- 「PDCA サイクル」を実現することにより、プランの達成のみならず、市役所の仕事の“計画”と“結果”の「見える化」が図られ、

市民への説明責任

を果たすことにもつながる。あわせて

職員の意識改革(成果重視の仕事のやり方への転換)

にも資する。